



AI協力に関する日印共同声明（概要）

2026年（令和8年）7月
外務省経済外交戦略課

7月2日、高市総理大臣とモディ印首相は、日印首脳会談の機会に、「AI分野における協力に関する日印共同声明」を発出したところ、概要以下のとおり。

- AIは経済・社会等を変革する、時代を画す汎用技術。**AI分野における両国の強靱性と競争力を相互に強化すべく協力を推進**することで一致。日本の進化した「**自由で開かれたインド太平洋（FOIP）**」とインドの「**MAHASAGAR（マハー・サーガル）**」の下、同志国やパートナーと共に、AI協力を強化することにコミット。
- 具体的な協力を深化させるため、「**日印AI協力イニシアティブ（JAI）**」の進展を確認し、本年4月の「**第1回日印AI戦略対話**」における議論を歓迎。**今後も同対話を定期的に実施**していくことで一致。

1. AIのガバナンス、安全性、サイバーセキュリティ

- 国際ガバナンスを推進する重要性を再確認。G20、OECD、国連等、国際場裡における連携を強化することを決定。**グローバルサウスや民間セクターの参加拡大を通じ、広島AIプロセスにおける協力を深化**させることを再確認。
- **フロンティアAIは高度なサイバー能力を有し、防御側を強化する一方、悪用のリスクも生じさせることを認識**。特に重要インフラに着目し、**AIを活用したサイバーセキュリティやAIシステムの安全性に関する協力を強化**していくことで一致。

2. インフラ整備、モデル開発、人材交流、ソリューションの共創

- AI技術スタックにおける両国の強靱性を確保しつつ、**信頼でき、多角化された強靱なサプライチェーンに支えられた、安全、安心で信頼できるAIエコシステムを構築する重要性を再確認**。データセンター、半導体等を含め、AIインフラに関する協力を強化し、**経済安全保障の観点からAI技術スタック全体で脆弱性と協力機会の共同分析を開始**。FOIPデジタル回廊構想の推進も強調。
- **多言語や領域特化型のパーティカルAIモデル開発等に関する産官学連携の強化で一致**。国立情報学研究所（NII）・インド工科大学（IIT）・BharatGen間、Preferred Networks・SarvamAI間等の覚書署名を歓迎。
- 日印を**AI分野における戦略的な研究開発パートナーとして格上げ**。大学・企業間の連携を通じた双方向の人材交流を進め、両国の産業競争力の強化にコミット。この一環として、**両国がインド高度人材の日本企業での就業等を後押しし、日本企業とインド高度人材の結びつきを強化**することで一致。あわせて、**インドの高度人材を2030年までに500人招へいし、共同研究を推進する目標を再確認**。

3. AI for All（第三国における協力）

- AIエコシステムの共創には、**第三国やマルチステークホルダーによる協力強化が肝要**。
- **モディ首相は、日本でのAIサミット開催を目指す高市総理の意向を歓迎・支持**。